

平成21年3月期
ミニディスクロージャー誌

第37期 営業のご報告
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



みちのく銀行からの
お知らせです。

Michinoku Bank

MINI DISCLOSURE 2009.3

みちのく銀行



取締役頭取

杉本 康雄

プロフィール(平成21年3月31日現在)

名 称	株式会社 みちのく銀行
設 立	大正10年(1921年)10月27日
本店所在地	青森市勝田一丁目3番1号
資 本 金	241億67百万円
従 業 員 数	1,294名
店 舗 数	国内：本支店101、出張所5 海外：駐在員事務所1(上海)
主 要 勘 定	預金残高……1兆7,220億円 貸出金残高……1兆2,590億円 有価証券残高……3,673億円 自己資本比率…8.76% <small>(連結ベース/国内基準)</small>

皆さまには、平素よりみちのく銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行へのご理解を深めていただくために、「平成21年3月期ミニディスクロージャー誌/第37期営業のご報告」を作成いたしましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

第37期は、経済情勢や金融市場の一段の悪化懸念が残るなか、今後の安定的な業績を確保するため、時価が著しく下落し、回復可能性が認められないと判断した有価証券の売却ならびに積極的な減損処理を行ったことを主な要因とし、大幅な赤字決算となりました。また、今回の業績を踏まえ、安定配当の維持と財務体質の維持強化の両面を考慮したうえで、誠に遺憾ではございますが、1株あたり3円の減配となる年間3円の配当とさせていただくことになりました。しかしながら、今回の対応により、金融市場の情勢に左右されにくい、安定的な業績を確保していくことが可能になったものと確信しております。

主たる私たちの営業基盤が未曾有の難局に突入している今こそ、「ふるさと」を元気にするため、昨年10月に宣言した「みちのく銀行の決意」(裏表紙をご参照ください)のもと、地元の皆さまをこれまで以上に総力を挙げて徹底的に応援していくことが、地域金融機関である我々の使命であると考えております。

今年4月には第二次中期経営計画「新たなステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～」(平成21年4月～平成24年3月)をスタートさせております。本計画では、「営業力の強化」「収益力の強化」「人材・組織の活性化と専門性の強化」などの重点方針を掲げております。こうした各種施策を着実に実行していくことで、当行が掲げる『地域最優の銀行』の実現を目指してまいります。

私どもみちのく銀行は、役職員一丸となって地域の皆さまに親しまれ、真にご満足いただけますよう誠心誠意取り組んでまいります。今後も変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

目 次

ごあいさつ	1	個人のお客さまのために	9
第二次中期経営計画	2	法人・事業主のお客さまのために	10
業績ハイライト		財務諸表	
収益/自己資本比率の状況	3	財務諸表	12
預金・預かり資産/貸出金の状況	4	連結財務諸表	13
資産健全化への取り組み	5	株式の状況・株式のご案内	14
CSR(企業の社会的責任)への取り組み	6		

第二次中期経営計画

● 新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

当行は、引き続き、「地域において圧倒的な存在感を持つ『地域最優の銀行』」を目指すべき銀行像に掲げ、平成21年4月から平成24年3月までの3ヵ年を計画期間とする、「第二次中期経営計画『新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～』」をスタートしております。

「第一次中期経営計画」で築き上げた経営基盤をさらに充実させ、そのうえで地域密着型金融をベースとした営業力の強化、人材育成の強化といった、生産性向上のためのさまざまな施策を展開することで、あらゆる面において総合力を発揮できる力強い組織を目指してまいります。

第二次中期経営計画

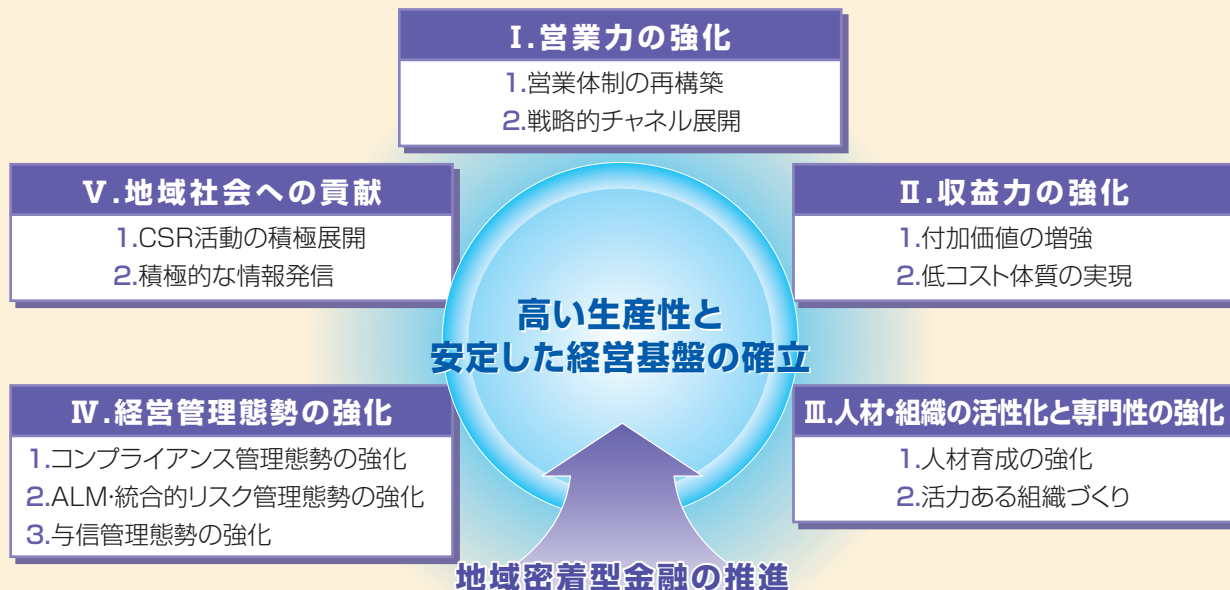
新たなるステージへの挑戦 ～総合力の発揮に向けて～

地域において圧倒的な存在感を持つ「地域最優の銀行」

● 重点方針と基本戦略

重点方針

「第二次中期経営計画」では、「営業力の強化」「収益力の強化」「人材・組織の活性化と専門性の強化」「経営管理態勢の強化」「地域社会への貢献」の5つの重点方針を定め、さまざまな基本戦略を展開してまいります。



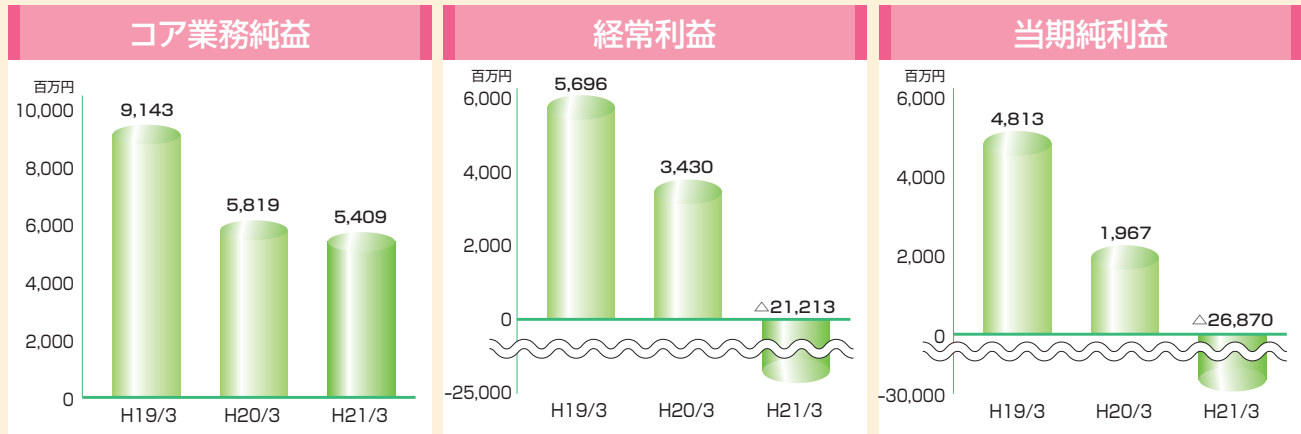
業績ハイライト

業績ハイライト

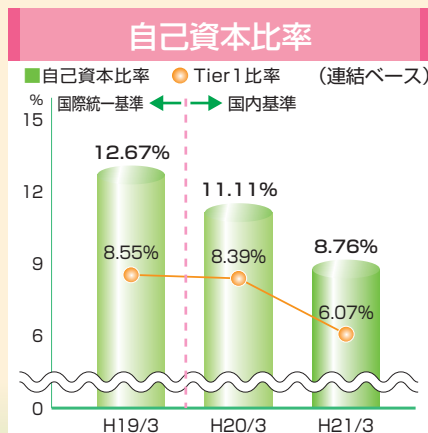
収益の状況

コア業務純益は、前年同期比4億円減益となる54億円となりました。昨年秋以降の金融市場混乱の影響により、保有する有価証券に多額の含み損が発生していましたが、今後の安定的な業績確保を目的として、時価が著しく下落し、回復可能性が認められないと判断した有価証券の売却ならびに積極的な減損処理を行ったことにより195億円の損失を計上いたしました。加えて、地元経済の停滞を背景とした不良債権処理の増加に伴い、与信費用を76億円計上したこと等により、経常利益は前年同期比246億円減少の△212億円となりました。

当期純利益は、経常利益の減少に加え、繰延税金資産を保守的に計上したことにより、前年同期比288億円減少の△268億円となりました。



自己資本比率の状況



経営健全性の指標である自己資本比率は連結ベースで 8.76%、単体ベースで 8.86%と、国内基準行に求められている 4%を大幅に上回り、引き続き十分な健全性を確保しております。

注) 平成 20 年 3 月期より国内基準により算出しております。

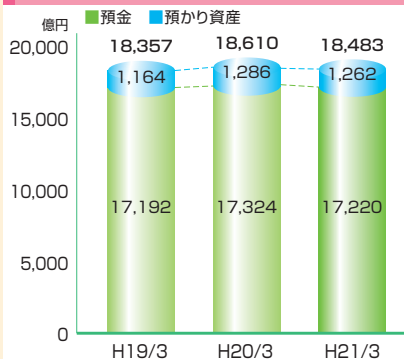
預金・預かり資産の状況

預金は、前年同期末比 104 億円減少して 1 兆 7,220 億円となり、預金・預かり資産の合計残高は、前年同期末比 127 億円減少の 1 兆 8,483 億円となりました。

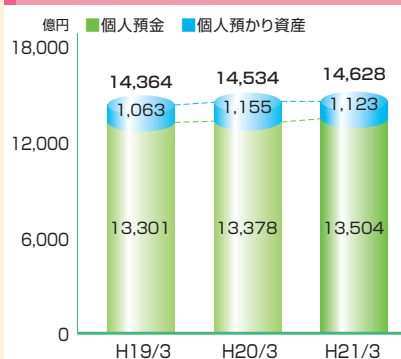
個人のお客さまの預金・預かり資産の合計残高は、預金・公共債・年金保険の増加により、前年同期末比 94 億円増加の 1 兆 4,628 億円となりました。

主力営業基盤の青森県・函館地区における預金は、預金全体に占める割合が 91.3% となっております。

預金・預かり資産残高



個人預金・個人預かり資産残高



預金に占める青森県+函館地区預金残高の割合

預金残高 1兆7,220億円

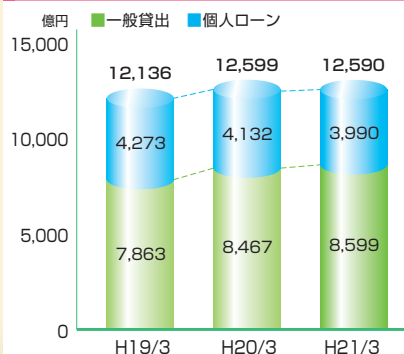


平成21年3月末

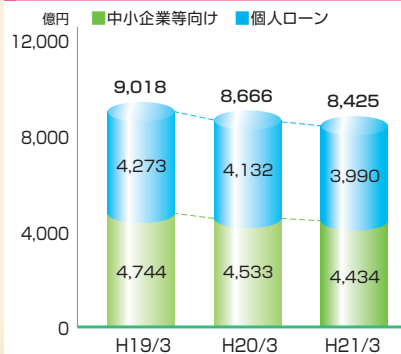
貸出金の状況

貸出金は、地公体向けを中心に一般貸出は前年同期末比 132 億円増加しましたが、住宅ローンを中心とした個人ローンが前年同期末比 142 億円減少したことなどから、全体では前年同期末比 9 億円減少の 1 兆 2,590 億円となりました。

貸出金残高

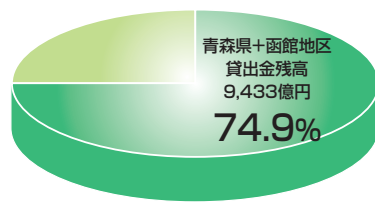


中小企業等向け・個人ローン貸出金残高



貸出金に占める青森県+函館地区貸出金残高の割合

貸出金残高 1兆2,590億円



平成21年3月末

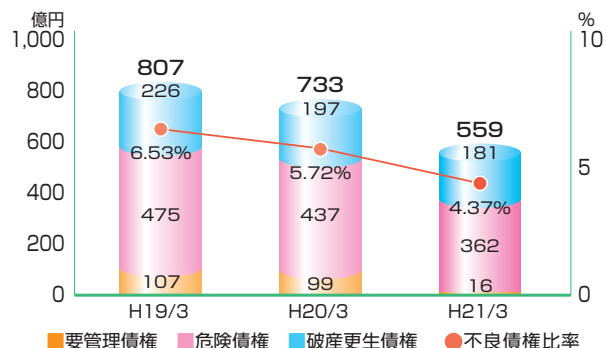
資産健全化への取り組み

金融再生法開示債権は、前年同期末比174億円減少し、対象債権に占める開示債権の比率は、前年同期末比1.35ポイント改善しております。

また、金融再生法開示債権に対する保全率は99.0%と、引き続き高い水準を維持しております。

今後も、不良債権発生抑制や、再生および最終処理に向け、審査・管理体制の強化を図ってまいります。

金融再生法に基づく開示債権の推移



与信関連資産に占める各債権の割合

対象債権合計 1兆2,778億円

対象債権全体の4.37%程度と
なっております。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
1.41% (181億円)

危険債権
2.83% (362億円)

要管理債権
0.12% (16億円)

正常債権
95.62%
(1兆2,219億円)

平成21年3月末 (金融再生法基準)

金融再生法開示債権の保全状況

(平成21年3月末)
単位:億円

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	181	181	143	37	100.0%
危険債権	362	356	234	122	98.6%
要管理債権	16	15	10	4	98.2%
計	559	553	389	164	99.0%

※債権回収の危険度合いなどに応じて、次の4種類に区分しております。

- **正常債権**：財政の状態や経営成績など、特に問題のない取引先に対する債権。
- **要管理債権**：3ヵ月以上延滞債権および貸出条件を緩和した取引先に対する債権。

- **危険債権**：まだ経営破綻には陥っていないが経営難の状態にあり、正常な返済が出来ない可能性の高い取引先に対する債権。
- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**：経営破綻状態にある取引先に対する債権。

CSR（企業の社会的責任）への取り組み

コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

●コーポレートガバナンス

当行が永続的に成長・発展していくためには、経営環境の変化に対応しながら、経営効率の向上、経営の健全性を確保していくことが重要であると認識しております。継続的にガバナンス体制を強化、整備するとともに、その方針が当行内部において浸透し、実践されるよう内部統制を強化しております。

●コンプライアンス

当行では、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付け、健全な経営を維持・向上させていくために、コンプライアンスに関する取り組み方針、運営体制を定め、役職員の共通認識のもと、徹底した取り組みを実践しております。

お客さまへのサービス向上に向けた取り組み

●CS（お客さま満足度）向上運動



「象の耳（お客さまの声）カード」をはじめとした各種アンケート等の実施を通じ、お客さまの声（ご意見・ご要望等）を幅広く吸収するなど、「CS（お客さま満足度）向上」に向けた各種取り組みを積極的に行っております。

●マナー研修「ひまわり」

お客さまへのサービス向上の基本となるビジネスマナーアップを目的に、マナー研修「ひまわり」を実施し、マナーアップリーダーの育成を行っております。



マナー研修「ひまわり」

積極的な情報開示への取り組み



IR説明会開催（東京）

お客さまや株主の皆さま、そして地域の皆さまといったステークホルダーの方々に当行の経営状況をご理解いただくために、積極的な情報発信に努めております。

情報開示スケジュール

- 6月 IR説明会開催(東京)・有価証券報告書提出・ミニディスクロージャー誌発行
- 7月 ディスクロージャー誌発行
- 8月 第1四半期決算発表・第1四半期報告書提出
- 10月 アニュアルレポート発行
- 11月 中間決算発表・第2四半期報告書提出



社会貢献活動への取り組み

●「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」の活動

地域振興および地域貢献活動を行っている個人、団体、企業への助成金等の支援を目的に、「財団法人みちのく・ふるさと貢献基金」（基本財産 10 億円）が継続的な助成活動を行っております。

助成事業は、「地域振興」「教育・福祉・環境」「育英奨学金」となっており、地域の発展に寄与するために皆さまを永続的に支援してまいります。

第21年度地域振興助成金授与



お問合せ先：財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 事務局
Tel. (017) 774 - 1179

●地域のスポーツ振興・伝統芸能の継承

地域のスポーツ振興、伝統芸能の継承などを目的に、各種支援を行っております。



青森県民駅伝競走大会



ちびっこ手踊り王座決定戦



第26回日本カーリング選手権大会

【主な支援活動】

- 青森県民駅伝競走大会 ●弘前・白神アップルマラソン
- 第26回日本カーリング選手権大会
- ちびっこ手踊り王座決定戦

●地域の「安全」・「安心」なまちづくりのために

地域の皆さまが安全・安心して暮らせるまちづくりのために、地域社会の一員として、さまざまな社会貢献活動に取り組んでおります。

【AEDの設置】

青森県内に本店を有する金融機関では、初めて「AED」を本支店 33 カ所に設置し、お客さまがより安心してご来店いただける安全な店舗環境の整備に努めております。



【こども110番の店】

登下校時の児童生徒をねらった凶悪犯罪等が相次いで発生しているなか、児童生徒が危険を感じ、助けを求めてきた場合、保護し、警察へ通報する等「こども110番の店」の活動を展開しております。



【振り込め詐欺撲滅】

全国的に被害が発生している「振り込め詐欺」の撲滅に向け、青森県警察本部が実施する「振り込め詐欺撲滅強化推進」に賛同し、連携した取り組みを実施しております。



●地域の祭り・イベントへの参加

青森ねぶた祭をはじめとする各地で開催される祭り・イベントに積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っております。



青森ねぶた祭

環境保全への取り組み

青森県の美しい自然環境を次の世代に引き継ぐために、環境保全への取り組みに関する国際規格である「ISO14001」の認証を、本部および全営業店で取得し、認証の登録を維持・管理しております。

当行が掲げる「みちのく銀行環境方針」に基づいて、全役職員が一体となり、さまざまな活動を展開しております。



●「みちのく<エコ>定期預金」の発売

お客さまとともに地元の環境保全に取り組んでいきたいとの趣旨のもと、「みちのく<エコ>定期預金～世界遺産白神山地のブナ林を守る～」、「みちのく<エコ>定期預金～森林や緑を守り育てる」を期間限定で発売いたしました。

定期預金残高に応じた一定金額を、お客さまに代わって、当行が自然保護活動のために



寄付しております。

平成20年10月には、当行職員が白神山地にブナの苗木を植樹しております。



●「チーム・マイナス6%」への参加

政府が推進している地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に参加し、クール・ビズの実施など、さまざまな活動を展開しております。



みちのく銀行はチーム・マイナス6%に参加しております。

職員がいきいきと働く職場づくり



当行では「職員がいきいきと働く活力のある銀行」を作り上げるために、雇用環境の整備や積極的な人材登用を行うための体制整備に努めております。

●人事制度

若手層から中高年層までの全ての職員が、自らの能力を最大限に発揮できる人事制度を運用しております。

●嘱託から行員への登用

豊富な業務スキルと高い業務意欲を持った嘱託を、積極的に行員へ登用し、人材の活性化を図っております。

●裁判員休暇

「裁判員制度」の開始にあたり、銀行としての社会的責任を果たすために、参加日数に上限を定めることなく、特別有給休暇として認める「裁判員休暇」を制度化し、職員が「裁判員制度」に参加しやすい環境を整備しております。

●妻の出産休暇

平成17年4月に施行された「次世代育成支援対策推進法」により、当行が策定した行動計画目標に基づき、仕事と子育てを両立できる環境を整備しております。

個人のお客さまのために

個人店の拡大

「個人店」を20カ店（インストアランチ5カ店を含む）まで拡大しております。

「個人店」では、個人のお客さまに関して、豊富な知識・経験を備えたスタッフが、個人のお客さまのさまざまなニーズにお応えしております。

また、筒井支店（青森市）、松森町支店（弘前市）、根城支店（八戸市）の3カ店については、資産運用や年金に関する各種セミナーを開催し、営業時間も17時まで（ただし、15時～17時までは相談業務のみ）延長しております。



筒井支店



インストアランチ

住宅ローンセンターの強化

「住宅ローンセンター」は住宅ローン専門のアドバイザーが、住宅関連業者さまや個人のお客さまのご都合に合わせて訪問し、お客さまのニーズにスピーディーに対応しております。

- ・青森住宅ローンセンター（本店営業部内） ☎ 0120 - 083709
- ・弘前住宅ローンセンター（弘前営業部内） ☎ 0120 - 143709
- ・八戸住宅ローンセンター（八戸営業部内） ☎ 0120 - 443709
- ・函館住宅ローンセンター（函館支店内） ☎ 0120 - 663709

「コミュニケーションボード」、「耳マーク」表示板の設置

「バリアフリー化」の一層の向上を目指して、耳の不自由なお客さまとの、円滑なコミュニケーションを図るため、「コミュニケーションボード」、「耳マーク」表示板を全店に設置しております。



偽造・盗難カード犯罪防止に向けて

お客さまの大切な預金をお守りするために、偽造が困難な「ICキャッシュカード」および「指静脈生体認証機能」を取扱しております。

平成20年11月にはコンビニエンスストア「ローソン」に設置されているATMにおいても、当行ICキャッシュカードのIC機能を利用したお取引が可能となっております。

当行は、引き続き、キャッシュカード犯罪防止に向けて、セキュリティの強化に努めてまいります。



クレジット一体型
ICキャッシュカード

預金・ローン商品のラインナップ強化

お客さまのライフサイクルに合わせたさまざまなニーズにお応えできるよう、預金商品、ローン商品について、新商品の開発やサービス向上に積極的に取り組んでおります。



ソリューション営業部の強化



八戸ソリューション営業部

4拠点の「ソリューション営業部」は、事業性資金に関する各種コンサルティングによるソリューション提供を通じて、中堅・中小企業支援に積極的に取り組んでおります。

- ・青森ソリューション営業部（本店営業部内）
Tel.(017)774 - 1137
- ・弘前ソリューション営業部（弘前営業部内）
Tel.(0172)32 - 2111
- ・八戸ソリューション営業部（八戸営業部内）
Tel.(0178)43 - 3141
- ・函館ソリューション営業部（函館支店内）
Tel.(0138)23 - 8101

7行共同企画「上海経営者交流会」の開催

平成20年11月に山陰合同銀行、肥後銀行、十八銀行、荘内銀行、東北銀行、北都銀行と共同で、中国上海市において、お取引先の中国進出支援およびお取引先同士の交流を目的とした7行共同「上海経営者交流会」を開催しております。



交流会では、中国ビジネスに長く携わり精通されている専門家によるパネルディスカッション、個別商談会などが行われ、個別商談会においては、参加したお取引先と中国企業が商談を行うなど、お取引先のビジネス拡大に貢献しております。

産学連携協力

地域の新規事業シーズの発掘貢献と相互の発展を目指して、八戸工業大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校と連携協力に関する協定を締結し、産学との連携を強化することで、地域経済の発展に努めております。

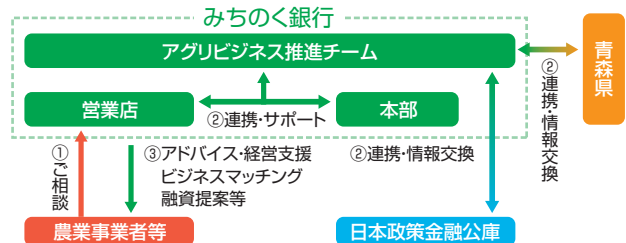


八戸工業大学調印式

アグリビジネス推進チームの設置

「農林水産業」に特化したさまざまな取り組みを行うため、日本政策金融公庫「農業経営アドバイザー」の試験合格者を中心として構成された「アグリビジネス推進チーム」を設置しております。農商工連携ビジネスマッチング等の活動を通じて、農業を中心とした事業者の事業発展と青森県経済の発展に寄与してまいります。

●アグリビジネス推進チーム 活動イメージ図



「『青森の正直』展示商談会」の開催

青森県などと連携し、平成21年2月に「『青森の正直』展示商談会」を東京にて開催しております。

本商談会への参加を通じて、お客さまに新たなビジネスチャンスを提供するなど、事業拡大のサポートに努めております。



動産担保融資（ABL）

中堅・中小企業のお客さまのさまざまな資金需要にお応えするために、商品・原材料といった商品在庫や売掛金などを担保にご融資する「動産担保融資」（ABL）への取り組みを強化しております。

また、青森県の基幹産業である「農林水産業」分野に対しても、ABLを積極的に取り入れていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。



● ABL イメージ図

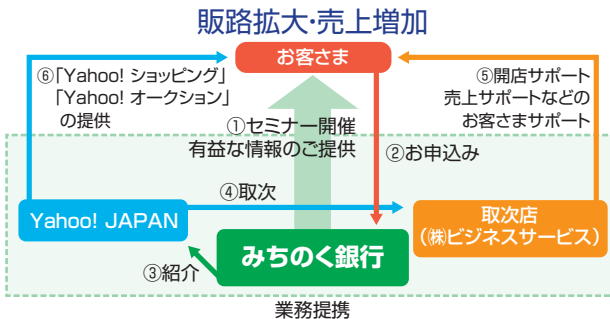


「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス

「ヤフー株式会社（本社：東京都）」が提供する『Yahoo! ショッピング』、『Yahoo! オークション』出店支援サービスを、県内金融機関では初めて取扱開始しております。

出店を希望されるお客さまをヤフー株式会社へ紹介し、地元中堅・中小企業のお客さまの販路拡大をサポートしていくことで、地域経済の活性化に努めてまいります。

● 「Yahoo! ショッピング」・「Yahoo! オークション」 出店支援サービス イメージ図



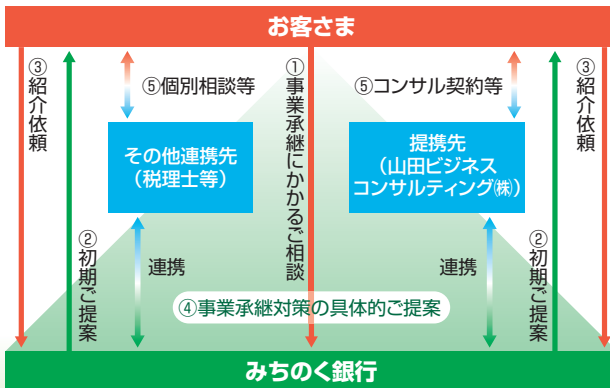
事業承継支援サービス

中堅・中小企業の多くのお客さまが、重要な経営課題と位置づけている事業承継問題への支援を強化する一環として、事業承継支援サービスを取扱開始しております。



事業承継支援サービスは、資産の承継（物的承継）と経営の承継（人的承継）の両面から、専門機関との提携のもと、各種提案から実行に至るまで、円滑な事業承継をサポートしてまいります。

● 事業承継支援サービス イメージ図



財務諸表

※財務諸表（単体・連結）の各表は、一部の科目を省略して表示しております。

財務諸表

● 貸借対照表

（平成 21 年 3 月 31 日現在）

（単位：百万円）

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	47,120
コールローン	106,598
買入金銭債権	6,526
商品有価証券	186
金銭の信託	19,994
有価証券	367,393
貸出金	1,259,003
外国為替	638
その他資産	8,864
有形固定資産	12,026
無形固定資産	1,537
繰延税金資産	13,910
支払承諾見返	12,879
貸倒引当金	△ 27,740
資産の部合計	1,828,940
(負債の部)	
預金	1,722,091
借入金	19,300
外国為替	17
社債	15,000
その他負債	6,734
賞与引当金	1,166
退職給付引当金	10,129
役員退職慰労引当金	208
睡眠預金払戻損失引当金	670
偶発損失引当金	323
再評価に係る繰延税金負債	879
支払承諾	12,879
負債の部合計	1,789,400
(純資産の部)	
資本金	24,167
資本剰余金	19,775
利益剰余金	2,543
自己株式	△ 2,665
株主資本合計	43,822
その他有価証券評価差額金	△ 4,323
繰延ヘッジ損益	△ 277
土地再評価差額金	318
評価・換算差額等合計	△ 4,282
純資産の部合計	39,539
負債及び純資産の部合計	1,828,940

● 損益計算書

（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）

（単位：百万円）

科 目	金 額
経常収益	46,139
資金運用収益	35,973
（うち貸出金利息）	(29,438)
（うち有価証券利息配当金）	(6,020)
役務取引等収益	5,230
その他業務収益	1,615
その他経常収益	3,321
経常費用	67,353
資金調達費用	5,971
（うち預金利息）	(4,943)
役務取引等費用	4,369
その他業務費用	11,179
営業経費	25,881
その他経常費用	19,951
経常利益	△ 21,213
特別利益	112
特別損失	415
税引前当期純利益	△ 21,515
法人税、住民税及び事業税	38
法人税等調整額	5,316
当期純利益	△ 26,870

連結財務諸表

● 連結貸借対照表

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	47,121
コールローン及び買入手形	106,598
買入金銭債権	7,579
商品有価証券	186
金銭の信託	19,994
有価証券	364,972
貸出金	1,261,379
外国為替	638
その他資産	8,878
有形固定資産	12,230
無形固定資産	1,565
繰延税金資産	13,888
支払承諾見返	12,879
貸倒引当金	△ 32,106
資産の部合計	1,825,806
(負債の部)	
預金	1,715,730
借入金	11,000
外国為替	17
社債	15,000
その他負債	10,987
賞与引当金	1,195
退職給付引当金	10,131
役員退職慰労引当金	208
睡眠預金払戻損失引当金	670
偶発損失引当金	323
利息返還損失引当金	67
再評価に係る繰延税金負債	879
支払承諾	12,879
負債の部合計	1,779,091
(純資産の部)	
資本金	24,167
資本剰余金	19,775
利益剰余金	1,645
自己株式	△ 2,665
株主資本合計	42,923
その他有価証券評価差額金	△ 4,323
繰延ヘッジ損益	△ 277
土地再評価差額金	318
評価・換算差額等合計	△ 4,282
少数株主持分	8,074
純資産の部合計	46,715
負債及び純資産の部合計	1,825,806

● 連結損益計算書

(平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	47,620
資金運用収益	36,274
(うち貸出金利息)	(29,735)
(うち有価証券利息配当金)	(6,018)
役員取引等収益	6,030
その他業務収益	1,616
その他経常収益	3,699
経常費用	68,613
資金調達費用	5,596
(うち預金利息)	(4,924)
役員取引等費用	3,730
その他業務費用	11,184
営業経費	26,822
その他経常費用	21,280
経常利益	△ 20,993
特別利益	114
特別損失	444
税金等調整前当期純利益	△ 21,323
法人税、住民税及び事業税	46
法人税等調整額	5,510
少数株主利益	208
当期純利益	△ 27,089

● 子会社および関連会社

(平成 21 年 3 月 31 日現在)

(株) みちのくサービスセンター	銀行事務代行業務
(株) みちのくオフィスサービス	労働者派遣業務
みち銀総合管理(株)	不動産の売買・所有・賃貸および 不動産の管理業務
みちのく信用保証(株)	住宅ローン等に係わる信用保証業務
Michinoku Preferred Capital Cayman Limited	優先出資証券発行に付随する業務 (特別目的会社)
みちのくカード(株)	クレジットカード業務
みちのくキャピタル(株)	投資業務

株式の状況・株式のご案内

●株式の状況 (平成21年3月31日現在)

- ◆発行可能株式総数 300,000千株
- ◆発行済株式の総数 150,895千株
- ◆株主数 14,298名

●株式のご案内

- ◆事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◆定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- ◆定時株主総会の基準日 毎年3月31日
- ◆配当の基準日
 - ・期末配当 毎年3月31日
 - ・中間配当 毎年9月30日
- ◆1単元の株式の数 当行の1単元の株式の数は、1,000株となっております。
- ◆公告の方法 当行の公告方法は、電子公告といたします。なお、電子公告は当行のホームページに掲載しております。

◆株式事務取扱場所

- ・株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- ・同事務取扱所 (郵便物送付先・電話照会先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(証券代行事務センター)
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
Tel. (03) 3323-7111 (代表)
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

その他当行株式事務についてのお問い合わせは、フリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。

フリーダイヤル 0120-78-2031

ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

ホームページ リニューアル

平成21年1月にホームページをリニューアルし、常時情報を配信しております。

ぜひ一度当行ホームページをご覧ください。

<http://www.michinokubank.co.jp/>



家庭の銀行



THE MICHINOKU BANK, LTD.

<http://www.michinokubank.co.jp/>

平成21年6月発行

みちのく銀行経営企画部 広報室

〒030-8622 青森市勝田1-3-1 Tel.(017) 774-1111

みちのく銀行の決意

みちのく銀行は、頑張っている地元の皆さまを
これまで以上に総力を挙げて応援します。

いま世界は、日本は、そして地域の経済は、未曾有の難局に直面しています。

みちのく銀行は、皆さまに育てられ、成長してきた銀行です。

「ふるさと」が底の見えない難局に突入している今こそ、頑張っている皆さまを総力を
挙げて応援します。

何でも相談してください。

本当の問題解決のため、時には厳しいことも言わせていただくかも知れませんが、
お客さまのご要望とは異なるご提案をさせていただくこともあると思います。

でも、我々はお客さまにとって何が良いのかを一所懸命に考えます。

地域に根ざした金融機関である我々は決して逃げません。ご相談は真正面から本気で
受け止め、「真の問題解決」に向け総力を挙げて取り組みます。

「ネアカ・のびのび・へこたれず」をモットーに、皆さまとともに頑張ります。

「ふるさと」の明るい未来を引き寄せるために。

平成20年10月

みちのく銀行

頭取 **杉本康雄**
役職員一同



環境ISO14001

みちのく銀行は、環境への取り組みに関する国際規格
ISO14001の認証を、本店および全営業店で取得して
おります。



この冊子は環境保全のため、再生紙と
大豆油インキを使用しております。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

みちのく銀行はチーム・マイナス6%に参加しております。